



れんごう中越地協

第950号2017.12.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費を含む



連合中越第27回定期総会

重点課題・役員体制を決定

総会終了後の躍進レセプションは盛大に開催

第27回連合中越年次総会が11月22日(水)午後3時から長岡グランドホテルで開催された。総会では「次の飛躍へ 確かな一歩を運動への『参加』と組織の『拡大』をすすめる、地域活動を広げよう!」のスローガンと18年度重点課題と、18・19年度役員体制等を満場一致決定した。



15時に開会した総会では、横澤副議長が開会挨拶を述べ、議長団は、横澤副議長が議長に選出された。矢島議長は挨拶で先ず、連合第4次男女平等参画推進計画に就いて、春闘に就いて「企業業績が出ていない中で、内部留保ではなく、賃金に向けられるのが課題だ。18春闘に向けて、賃上げを勝ち取るため、したたかな戦略を練ってほしい」と述べた。また、働き方改革関連法案に就いて「内部対応について、内部コミュニケーション不足等を指摘した。また、政治については「連合推薦は4勝2敗。5区は残念な結果であった。野党再編であった。野党再編成、民進党分裂もマイナス要因で、与党を有利にする結果となった」と述べ、連合中越地協は「地域に根ざした顔の見える運動をこれからも行っていく。春闘統



一行動、地域共闘、非正規・短時間雇用者等の処遇底上げ、平和・環境、NPOとの連携、ライフサポートセ

副市長、大平悦子氏、

その他の項では、U

交流となった。

み抽選会があり、東北

が 合言葉

また、総会受付協

等多数の賞品が、会場

を終了した。

みなさんインフルエンザの予防接種はお済みでしょうか? とあるお医者様から、インフルエンザに関するお話を伺う機会があり、3点ありますのでお話ししようかと思えます▼インフルエンザワクチンが不足している▼新型ワクチンの絶対量が不足しており、昨年の型を急遽製造することとしたため、製造の遅れが生じているとのこと。早めの予防接種をお勧めします▼感染の疑いが生じたら、100%正しく判断されることは言い難く、医療機関で検査結果が陰性と判断されても、感染している場合があり、咽喉が強く痛

東蔵王2 副議長 渡部力也

「家族などに感染者が複数いる」場合などは、インフルエンザの処方薬を要望した方が良いと考えられます▼感染予防では、ウイルスは鼻や咽喉の粘膜から体内に入り込むことから、手洗いやマスクの着用は有効です。うがい、薄

サラリーマン川柳 (「何食べたい?」聞くな 作ったことがない) (苦情にも 笑顔で答え 胃潰瘍) (見せましょう 金欠夫婦の 底力を) (四十過ぎ 残りものにも 欲がある)

連合小千谷支部だより

11月27日(月)に第10回連合中越小千谷支部定期総会が、プラザ片山にて開催されました。

当日は連合中越地協副議長 羽賀様をはじめ、参議院議員 風間直樹様秘書であります 居上様、小千谷市長 大塚様、小千谷市議会議員 長谷川有里様、駒井和彦様よりご祝辞を頂いた後、1年間の活動総括と2018年度の支部活動及び予算の承認を頂きました



総会の最後に、今年度より新しく支部長に就任しました佐藤支部長のご発声のもと、「団結ガンバロー!」で締めくくりました。



その後は別室に移り、懇親会を行いました。新支部長の下、今年度も地域に根ざした活動に取り組むことを確認しました。

連合中越2018・19年度幹事会役員一覧

役職	氏名	構成組織
議長	矢島良彦	UAゼンセン
副議長	横澤勝之	自治労
副議長	羽賀実	JAM新潟
副議長	與口篤也	電機連合
副議長	番場睦	J P 労組
副議長	渡部力也	電力総連
事務局長(連合新潟派遣専従)	小林守	情報労連
事務局次長	多田義和	日教組(新教組)
幹事	金山輝美	自治労
幹事	飯田浩二	UAゼンセン
幹事	石井正勝	JAM新潟
幹事	金子敬	ヘルスケア労協
幹事	多田将行	自動車総連
幹事	小池昭夫	JR総連
幹事	羽深良一	日教組(高教組)
幹事	石坂学	情報労連
幹事	青柳亮佑	運輸労連
幹事	山崎丈司	私鉄総連
幹事	米持信也	基幹労連
幹事	室橋賢人	JEC連合
幹事	山田康浩	全水道
支部選出幹事(見附)	五十嵐厚	UAゼンセン
支部選出幹事(小千谷)	関口善仙	電力総連
支部選出幹事(北魚沼)	中嶋信幸	J P 労組
支部選出幹事(南魚沼)	半澤英和	自治労
支部選出幹事(十日町)	山口耕一郎	自治労
S J N 選出幹事	石田千絵	JAM新潟
S J N 選出幹事	倉品祥子	自治労
S J N 選出幹事	猪股和樹	電力総連
会計監査	杓名稔	紙パ連合
会計監査	神田茂信	全労金

総会宣言

私たちは、第27回定期総会で「次の飛躍へ 確かな一歩を 運動への『参加』と組織の『拡大』をすすめ、地域活動を広げよう!」のスローガンのもと、「2018年度重点課題」を決定した。

連合は、2019年に結成30周年を迎える。その節目を前に、次の時代の連合運動を力強く切り拓いていくためにも、これからの2年間を、足元をしっかりと固める期間としていかなければならない。

私たちを取り巻く環境は、人口減少、超高齢社会、非正規労働者の増加、格差の拡大、そして労働力不足など、多くの課題が山積している。このような中、誰もが互いに支え合い、希望を持って働き暮らせる社会のためには、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現が、より一層求められている。

底上げ・底支え、格差是正の継続的な取り組み、社会保障と税の一体改革の着実な推進、教育の機会均等や能力開発の強化などを通じて、雇用と暮らしの安心・安全を確かなものとする必要がある。

雇用形態の違いによる不合理な格差の解消、長時間労働の是正など、これまで連合が求めてきた労働基準法の一部改正法案は、9月28日の臨時国会冒頭解散によって廃案となり、長い審議を重ねた長時間労働の上限規制も先延ばしにされた。

一方、「働く者のための働き方改革」を実現するためには、法律の整備だけでなく、職場や地域での実践こそが不可欠である。私たちは、健全な労使関係を持つ労働組合の強みを活かし、その先頭に立ち取り組みを進めていく。

本日私たちは、連合新潟運動方針に則り運動を推進していくことを確認した。地域に根ざした顔の見える地協活動の充実と強化、組織拡大、政策実現力と政治意識の向上、男女共同参画の推進、非正規労働者の処遇改善など、連合の組織力、政策力、発信力にいつそう磨きをかけ、すべての働く者のための労働運動を地域から力強く展開し、連合運動の社会的役割と価値を着実に次の時代につないでいく。

「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけ、加盟するすべての組織と組合員の力を結集し、次の飛躍へ、確かな一歩を踏み出そう!

2017年11月22日
連合新潟中越地域協議会
第27回定期総会

『連合中越地域協議会 第27回定期総会にご出席の皆様』

御礼

2017年11月22日開催の「連合中越第27回定期総会」におきまして、フードバンクにいがた長岡センターのフードドライブに多くの食品をご寄贈頂戴いたしまして御礼申し上げます。

皆様からご寄贈頂きました食品の総重量は、下記の通りでございました。

後日、フードバンクにいがた長岡センターより長岡市内の社会福祉施設、生活困窮者支援団体等に寄付をさせていただきます有難うございました。

ご寄贈重量 34kg

感謝

2017年11月フードバンクにいがた
長岡センター 山崎 一雄